

ぽぽデイだより NO.125 令和5年7月号

社会福祉法人 ほっとスマイル
ぽぽデイ名塩駅前 669-1133 西宮市東山台 1-1(1階) TEL0797-62-1165

施設長より

7月1日(土)は「進路について」の座談会でした。当事業所から4名と地域から1名の保護者のみなさんと、講師として元特別支援学校進路指導担当の津倉利朗氏と相談支援事業所アイクロツソの児嶋慎佑氏、私を含めて8名の座談会です。

まず津倉氏が、特別支援学校や高等学校を卒業して、障害のある子どもさんにどのような進路があるか、資料を交えてお話されました。ほぼ一般雇用に近い就労継続支援A型。就労継続支援B型はA型に近いところから、居場所のようにゆったりしたところまでとても幅があること。特別支援学校卒業でも入学できる大学があることや、自立訓練事業所に2年間通ってずいぶん成長し、卒業後は一般雇用枠で就労された事例など、これまでの経験に基づいた具体的なお話を聞くことができました。「中でも大切なのは、焦らないということです。どこかに就職しておしまいではなく、合わなければ辞めて次の方法を探せばよい、無理をして働くのが嫌になってその後引きこもっては元も子もない。」ということでした。実際に5年間まじめに働いていたのに、ある日出勤できなくなり、その後引きこもってしまった事例もある、とのことでした。続いて児嶋氏は、就労以外に福祉サービスを使う進路も教えてくださいました。

以下のリンクにある西宮市福祉事業所ガイドブックには、就労継続支援A型、B型以外に、就労移行支援、自立訓練、生活介護、多機能型事業所、地域活動支援センター、施設入所支援、相談・支援窓口という福祉サービスの事業所が説明付きで紹介されています。読んだだけではわからないことも多いですが、相談支援専門員や、ななくさ新生園にある総合相談窓口の担当者に聞くと良いということでした。ただし、大事なのは「取りにくい情報」とのことです。居ながらにして手に入る情報は表向きの良い情報が多いので、必ず見学に行つて雰囲気を見てくること、疑問に思ったことは質問してくること、というアドバイスがありました。参加された方からは、何が分らなかったかということが分かって、とても役に立ったとの感想をいただきました。今度は、成人後のお金の話などを聞きたいとお声があったので、また企画します。お楽しみに。

高等学校における障害のある生徒等への進路指導ガイド

<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/tokucen-bo/NC3/wysiwyg/file/download/1/596>

西宮市地域自立支援協議会しごと部会発行

西宮市福祉事業所ガイドブック

[https://nishi-jiritushien.jp/cms/wp-](https://nishi-jiritushien.jp/cms/wp-content/uploads/2023/04/2023%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF_PDFr5.4.15-1.pdf)

[content/uploads/2023/04/2023%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF_PDFr5.4.15-1.pdf](https://nishi-jiritushien.jp/cms/wp-content/uploads/2023/04/2023%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF_PDFr5.4.15-1.pdf)

児童発達支援 いちご組

朝の会のあそび・活動の1つに『絵本』を一緒に楽しむ時間があります。言葉に出会い触れ合う時間、絵を見ながら知っていることや経験されたことを「〇〇！」と伝えてくれたり、やり取りを楽しむ時間、登場する人物の動きを模倣し笑ったり、その仕草を友だちと一緒に楽しんだりする時間…。友だちや大人、一緒に『絵本の世界』を楽しむことが面白く、大切な時間だと感じています。これからも、一緒にたくさんの絵本に出会っていきたいと思います。

『だるまさんが』シリーズ、『ありのあちち』シリーズ、『おしくらまんじゅう』などが大好きです。

ゲーム要素を含んだ粗大うんどうあそび、水・粘土などの感触あそびを楽しんでいきたいと思っています。

放課後等ティサービス

ある日のあそびで『代わったの だーれ?』ゲームをすることになりました。スタートは、大人3人が横一列に並んで、「よーく見といてよ。覚えといてよ。」と伝え、一度壁の向こうに下がり、並ぶ順番を変えて、再登場します。「〇〇さんと△△さんが代わった!？」と瞬間に伝えてくれます。2, 3度繰り返す内に「やりたーい」と声があがり、攻守交替して大人が答え、お子様たち6名が演じることになりました。壁の向こうに入り、変化をみんなで考え、大人が絶対に答えられないだろう…と笑いをこらえながら登場しました。「□□です。」と答えると「違いまーす」と、たくさんのやりとりが見られたあそびだったと感じます。お子様たちから『やりたい』と発信があり、展開したあそびです。

もうすぐ夏やすみです。『〇〇やりたい』『こんなこともしてみたい』そんな気持ちを出れる限り実現できる…夏休みの時間にしたいと思っています。

スタッフの一言

むし暑い日が続き、体調を崩しやすい時期かと思っています。先日わが子が熱を出したので小児科に連れていくと、病院内は患者でごった返してしまいました。いったん熱が下がった日があったので、もう大丈夫と思い、いっぱい遊んだら、またぶり返してしまいました。油断大敵でした。みなさんもしっかり食べて寝て、元気よく日々を過ごしてもらいたいと思います。 木村

昨年の七夕飾りで、子どもたちが短冊に一生懸命書いたお願い事を思い出し、とても微笑ましく楽しい気持ちがよみがえりました。
1年たった今年のみんなのお願い事は何かな？
1人1人の成長を応援しながら、これからも一緒に楽しんでいきたいと思っています。

澤本